



共済制度の詳細
はこちらから

病気やケガでの休業に

保険医休業保障共済保険

- ①年齢が上がっても掛金は、加入時のまま
- ②掛け捨てではなく、満期75歳まで最長730日保障
- ③自宅療養、代診をおいても給付
- ④精神疾患・認知症、再発・後遺症による休業も給付
- ⑤傷病休業給付金は非課税
- ⑥所得補償保険等の重複受給OK

2022年8月より
免責期間短縮!

入院は1日目から
退院は4日目から
給付対象

8口加入、1日あたりの保障

入院 64,000円 自宅 48,000円

鹿児島県における給付事例(一部)

加入者	加入者区分	給付開始時の年齢	傷病の内容	給付日数	給付金額
A先生	歯科開業医	40代	精神科系	142日	2,556,000円
B先生	歯科開業医	40代	感染症系	16日	128,000円
C先生	歯科開業医	60代	神経系	247日	6,656,000円
D先生	医科開業医	70代	悪性新生物	233日	7,780,000円
E先生	医科開業医	60代	悪性新生物	20日	800,000円
F先生	歯科開業医	60代	整形外科系	50日	1,500,000円
G先生	医科勤務医	60代	悪性新生物	186日	3,594,000円
H先生	歯科開業医	60代	不慮の事故	5日	120,000円

万が一をしっかりとサポート

グループ生命保険

- ①お手頃な保険料
- ②剰余金が生じた時には配当金としてお支払しています。
(2020年度は43.56%)
- ③加入例
▶▶ 45歳男性 保険金額6,000万円
月額保険料9,840円

老後や将来の備えに

保険医年金

- ①1口単位で、いつでも解約可能
- ②万一時はご遺族に全額給付
- ③80歳まで掛けられます
 - ・月払1口1万円/一時払1口50万円
 - ・予定利率 **1.140%** (2022年7月現在)
 - 前年度実績 (上乗せ配当あり) **1.407%** 合計
- ▶▶ 一時払200万円加入例 (1.140%で試算)

加入期間	脱退一時金
20年	約241万円

その他、「医師賠償責任保険」、「団体所得補償制度」、「保険医がん保険」、住宅ローンなどの「融資制度」も取り扱っております。各制度の加入条件や支払条件等の詳細につきましてはパンフレット等をお送りさせていただきますので、ご遠慮なくお申し付けください。
※共済制度概要を説明したものです。加入条件、支払条件等については、パンフレット・申込書等を必ずご確認ください。

鹿児島県
保険医協会
ご紹介

保険医の生活と権利を守り、
国民医療の充実と向上を目指して活動しています。

保険医のベストパートナー 日常診療での相談活動

- ①保険請求、審査・指導に関する相談対応
- ②税務・雇用など経営に関する相談対応
- ③その他の日常診療における様々な相談対応

●保険医協会へのご入会のおすすめ

保険医協会とは何だろうと思いつつ入会してからおよそ30年です。わかったことは、医師会・歯科医師会は、学術団体であり、また、時の政権及び行政と協力して公衆衛生等の啓発活動をする等、公共性の高い団体であると考えます。一方で保険医協会は、医師・歯科医師による自発的な任意団体であり、政権とは離れているため、医師会・歯科医師会では扱いにくい諸問題を医科歯科共同で考え、問題提起や提案・活動する団体であると考えに至りました。個人的には、両者とも現医療を支える上で車の両輪をなす、不可欠な団体であろうと考えます。



鹿児島県保険医協会
会長 原口 兼明

さて、日本の医療は、主に財源問題を絡められ、診療報酬の実質マイナス改定が繰り返されてきました。そのため、我々保険医は、非常に厳しい状況にあります。こういう状況を打破するために我々は、一致団結する必要があると考えます。

保険医協会は、社会保障としての医療を擁護、発展させて保険医の生活と権利を守り、地域医療を発展させるべく積極的な運動を行っています。

この機会にその存在意義を理解いただいて、協会に加入いただき、お力添えいただければ幸いです。

●鹿児島県保険医協会役員 (2022.4現在)

会長	原口 兼明	医・霧島市
副会長	高岡 茂	医・鹿児島市
副会長	三浦 清春	医・鹿児島市
副会長	業師寺 毅	歯・鹿児島市
副会長	椎野 年治	医・日置市
副会長	森主 真弓	歯・鹿児島市
副会長	坪水 良平	歯・鹿児島市
理事	有川 公仁	歯・伊佐市
理事	石橋 貴樹	歯・鹿児島市
理事	鬼塚 一徳	歯・鹿児島市
理事	田中 健一	歯・鹿児島市
理事	谷口 宏太	歯・鹿児島市
理事	山口 浩太郎	歯・鹿児島市
理事	玉江 末広	医・霧島市
理事	中村 佐知子	医・鹿児島市
理事	中村 匡彦	医・伊佐市
理事	中村 康典	歯・鹿児島市
理事	林川 貴志	歯・鹿児島市
理事	藤崎 知文	医・鹿児島市
理事	古田 利久	医・鹿児島市
理事	本庄 茂	医・日置市
理事	柳田 敏孝	医・日置市
監事	今給黎 泰二郎	歯・鹿児島市
監事	赤尾 光雄	歯・鹿児島市
顧問	小田代 憲一	医・南九州市

鹿児島県保険医協会

〒892-0828 鹿児島市金生町7-8-7階
TEL099-272-9970 FAX099-272-9980

ホームページアドレス <https://www.kahokyou.com/>
メールアドレス kahokyou@yahoo.co.jp



保険医協会のご紹介

戦後まもなく各都道府県で、安心して医療を受けられる保障として、健康保険の普及と改善をめざす医師・歯科医師達の自主的な活動が始められました。その後、国民皆保険制度が実現する中で、保険医(保険証で診察できる医師・歯科医師のこと)の切実な要求として診療報酬の引き上げ改善や医療制度の改善、不当な審査・指導の改善などが叫ばれました。こうした保険医の要求を自らの運動によって実現しようと、医師・歯科医師が自主的に集まり各都道府県に「保険医協会」を結成しました。

全国組織としての全国保険医団体連合会(保団連)が結成されたのが1969年、現在47都道府県すべてに保険医協会が結成されており、結成当時、全国で1万人だった会員数は、**現在では約10万人超へと大きく発展しました。**

「鹿児島県保険医協会」は、1986年に結成されました。

■会費(月額)

●開業医…4,000円 ●勤務医…3,500円

●配偶者会員……………2,500円

(夫婦いずれも本会員で、いずれか一方が勤務医会員で郵送物の不要な方)

※ご指定の銀行口座より3ヶ月ごとに自動振替します。

(入会金はありせん)

Q&A

Q1 鹿児島県保険医協会の会員数は何人ですか?

A1 2022年4月1日現在1,240名(医科727名、歯科513名)の方が加入されており、県内の約半数の開業医の他、勤務医の方の加入も増えています。

Q2 入会することで、義務やノルマが課せられますか?

A2 会員の方には会費の納入をお願いすることになりますが、この他に、強制的に義務を課したり、ノルマを課したりすることは一切ありません。

Q3 政党との関係はどうなっていますか?

A3 本会は、医療制度などの改善のため、政党や国会議員との懇談や、働きかけを行うなど、私たちの要求への理解を求めるための活動は行っていますが、特定の政党の支持・不支持は行わず、献金活動なども一切行っていません。また、憲法で保障された、個人の思想・信条の自由は堅く守って活動しています。

私たちはこんな活動をしています!

早くて正確な情報

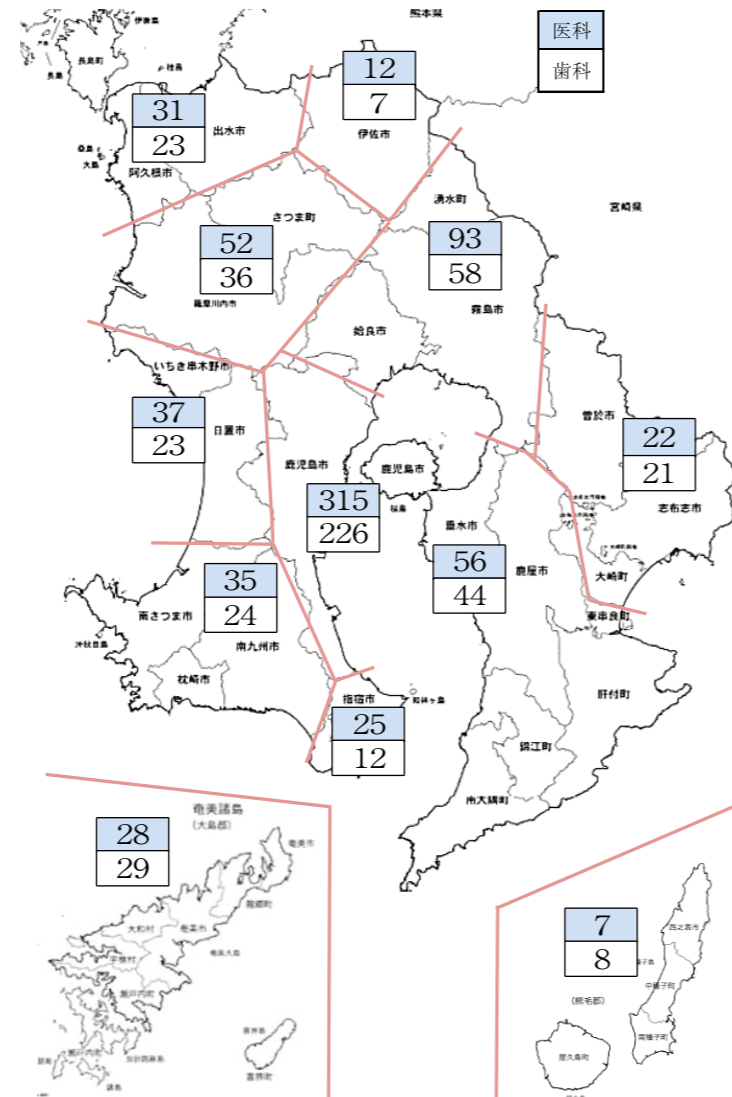
- ①全国保険医新聞(月3回)及び月刊保団連(月1回)、鹿児島県保険医新聞(隔月1回と速報)の発行(会員購読料は会費に含む)
※診療報酬改定のいち早い情報提供は大好評です。
- ②保険診療や経営をサポートする豊富な書籍(原則、会員は半額、会員限定販売)
- ③希望する会員へは「点数早見表」「保険医の経営と税務」など無償配本
- ④協会ホームページには、説明会の動画も掲載(会員専用)

早くて正確な情報をお届けします。



▲オリジナルの参考書籍は大好評 ▲ホームページは随時、内容更新

地域別会員数 (2022年4月現在)



会員の声を反映した、多彩なセミナーを開催

- ①分かりやすいと好評な診療報酬改定説明会の開催(県内各地で開催)
- ②保険診療・審査・指導・介護報酬に関する説明会
- ③日常診療に役立つ学術研究会(オンラインでも開催)(医科歯科合同の研究会は、協会ならではの)
- ④経営や税務、スタッフ教育、パソコン講習会や女性医師・歯科医師交流会、その時々的情勢に対応した時局講演会
- ⑤eラーニングのページを開設しました。



▲コロナ禍でも受講可能なeラーニング



▲新点数説明会は毎回大好評(写真は2022年歯科説明会)



▲臨床に役立つ研究会や指導対策セミナー



みんなでわきあいあい文化・レクリエーション



▲会員間の交流を目的にゴルフ大会



▲県内各地をめぐるバスツアーは、新たな発見もあり大好評!!



▲お子様も交じっての催しもあります



▲ソムリエにワインを学びながらの楽しいお食事会

医療制度の改善などあらゆる方面に働きかけます

診療報酬改善や、患者負担増反対など医療制度改善のための要求をあらゆる方面によびかけます。



▲患者会との意見交換



▲定期総会の模様



▲九州厚生局との懇談にウェブ参加



▲女性の労働環境の改善を求めて



▲新型コロナへの対応を県に要請



▲代議士との懇談も開催

住民へも活動を広げています



▲文化講演会や無料映画上映会など、どなたでも参加できる催しも多数開催



▲タウン情報誌への医療記事の掲載

◎現在は、新型コロナウイルス感染の状況を考慮して、開催の可否を判断し、感染防止対策を講じた上で、各種催しを開催しています。(写真は新型コロナウイルス感染拡大以前に開催されたもの含まれております。)